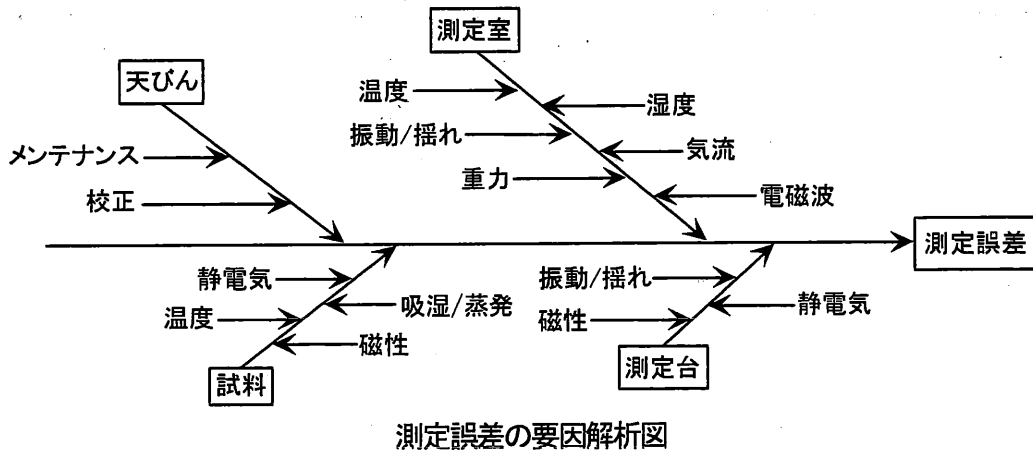


より正確な測定をするために

より正確な測定を行うためには、測定における誤差となる要因を極力少なくする必要があります。誤差の要因となるものには、はかり自体の器差や性能以外にも、試料の性質や状態、測定環境（振動、温湿度など）などと、さまざまなものがあります。A Jシリーズクラスの分解能を有するはかりでは、これらの要因が直に測定結果に影響してしまいます。

この資料は、そのような誤差要因をできるだけ少なくし、正確な計量を行うために注意していただきたい要点をまとめたものです。



1 測定室に関する注意点

- 1.1 温度/湿度
 - ◎温度変化による結露や表示のドリフトを避けるため、室温はできるだけ一定に保つようにしてください。
 - ◎湿度が低いと静電気が発生しやすくなります。（湿度60%RH程度が理想とされています）
- 1.2 振動/揺れ
 - ◎測定室の位置としては1階または地階が好ましく、高い階になるほど振動や揺れが大きくなるため測定には向きません。また、線路や道路側の部屋も避けたい場所です。
- 1.3 気流
 - ◎エアコンの風が直接あたる場所や直射日光のあたる場所は、急激な温度変化が生じるため避けてください。
 - ◎人の出入りが多い部屋は、気流や温度変化が生じやすいので避けてください。
- 1.4 重力
 - ◎測定場所の緯度やその標高によって試料に作用する重力が異なるため、同じ試料でも場所によって違った重量表示になります。このため、はかりの設置場所を変更するたびに校正を行うようにしてください。
- 1.5 電磁波
 - ◎強い電磁波を発生させるものがはかりの近くにある場所は、電磁波の影響で正確な重量表示ができなくなることがあるため避けてください。

2 測定台に関する注意点

- 2.1 振動/揺れ
 - ◎測定中に振動があると、表示が安定せず正確な計量ができなくなってしまいます。そのため、堅固で振動の影響を受けない測定台をご使用ください。（防振構造の台や、コンクリート、石製の台が適しています）。また、はかりの下に柔らかい布や紙などを敷いての測定は、揺れたり水平状態を保てなくなるため避けてください。
 - ◎測定台はできるだけ振動の影響を受けない場所に設置してください。部屋の中央よりも、隅の方が振動が小さいため設置には適しています。
- 2.2 磁気/静電気
 - ◎磁気や静電気の影響を受けやすい台上での使用は避けてください。

3 試料に関する注意点

- 3.1 静電気 ◎一般に、合成樹脂やガラス製の試料は電気絶縁性が高く、静電気を帯電しやすくなります。帯電した試料やその容器を計量すると、表示が安定せず計量結果の再現性は悪くなります。このため、試料が帯電している場合は必ず放電してください。
- 3.2 磁性 ◎磁気の影響を受けた試料は、計量皿の異なる位置でそれぞれ違った重量を示し、再現性が悪くなる場合があります。磁気を帯びた試料を測定する場合、試料を消磁するか、計量皿上に載せ台などを使用し、はかりの機構部が磁気の影響を受けない距離まで遠ざけるなどしてください。
- 3.3 吸湿/蒸発 ◎吸湿または蒸発（揮発）している試料を測定すると、表示値が連続的に増加または減少します。この場合は、試料を口の狭い容器に入れ、ふたをして密閉してから測定してください。
- 3.4 試料温度 ◎試料の温度と風防内との温度が異なると、風防内に対流が起こり誤差が生じることがあります。試料の温度が極端に高いまたは低い場合は、室温と同じ温度になった後に計量してください。また、風防内での対流を防ぐために測定前は風防内を室温となじませてください。
- ◎測定者の体温も影響を与えてしまうため、試料は直接手では持たずに長いピンセットなどを使用し、測定中はできるだけ風防内に直接手を入れることは避けてください。

4 はかり本体に関する注意点

- 4.1 使用上の注意 ◎はかりには透明なダストカバーが付属しております。本体を梱包箱から取り出した直後や、湿度が低い時などで、はかりの表示値が安定しない場合はダストカバーが帯電している可能性もあります。このような時は、ダストカバーを濡らせた布で拭いたり、市販の帯電防止剤を使用してみるか、または外してご使用ください。
- ◎より安定した計量をするために、はかりを30分以上通電し、ひょう量相当の負荷を数回掛けてからご使用ください。
- 4.2 校正 ◎はかりは定期的に校正してください。
- ◎より正確に校正するために、ひょう量に近い校正用外部分銅をご使用ください。
- ◎はかりを30分以上通電し、ひょう量相当の負荷を数回掛けてから校正を行ってください。
- 次の場合にも校正が必要です。**
- ◎はかりを初めて使用する場合
 - ◎長期間使用していなかった場合
 - ◎設置場所を変更した場合
 - ◎温度、湿度、気圧の大幅な変化があった後など
- 4.3 メンテナンス ◎計量皿やパンベースに粉末や液体などの汚れが付着していると、重量値に誤差が生じたり、表示が安定しない場合があります。このため、はかりはこまめに掃除をしてください。掃除の際はゴミや液体がはかりの内部（機構部）に入らぬようご注意ください。
- ◎丸皿タイプに付属の風防には、帯電防止処理を施しております。このため、湿った布で拭くと効果が弱まる場合があります。風防を洗浄する時は乾いた布で拭きをしてください。また、帯電防止の効力は時間とともに弱まる場合があります。このような場合は、市販の帯電防止剤をご使用ください。